

第 308 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催： 公益社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

期日： 2017年2月23日(木) 13時00時～17時35分

会場： 東ソー株式会社 本社

〒105-8623 東京都港区芝 3-8-2 (芝公園ファーストビル) 電話：03-5427-5180

都営三田線 芝公園駅 (A2 出口) 徒歩 5 分、都営大江戸線 赤羽橋駅 (赤羽橋出口)

徒歩 5 分、都営浅草線・三田線 三田駅 徒歩 10 分、JR 線 田町駅 徒歩 15 分

<http://www.tosoh.co.jp/company/location/headoffice/index.html>

講演主題： 「不確かさとバリデーション」

開催趣旨： 分析結果の信頼性を評価する方法として、従来の誤差評価法に代わり、不確かさ評価法が用いられるようになりました。また、分析法の開発においては、バリデーションが重要となっています。そこで、本例会では、普段は接することが少ない“不確かさ”と“バリデーション”への理解を深めることを目的として、これらの基本的内容から実用的手法まで、幅広く御講演頂きます。

講演：

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00～13:05)

(東ソー株式会社) 伊藤誠治

1. 「不確かさ評価と標準物質」 (13:05～14:05)

(一般財団法人 化学物質評価研究機構) 山澤 賢

2 「不確かさ評価への利用を目指した分散分析入門」 (14:05～15:05)

(国立研究開発法人 産業技術総合研究所) 田中秀幸

休憩 (15:05～15:20)

3. 「分析バリデーション」 (15:20～15:55)

(東ソー株式会社) 伊藤誠治 (LC 分析士四段、LC/MS 分析士初段)

4. 「HPLC 機器のバリデーション」 (15:55～16:30)

(株式会社島津製作所) 後藤 武 (LC 分析士二段)

5. 「LC/MS/MS による生体試料中薬物濃度分析法のバリデーション」 (16:30～17:05)

(株式会社東レリサーチセンター) 竹澤正明 (LC 分析士三段、LC/MS 分析士五段)

6. 総括「不確かさとバリデーション」 (17:05～17:35)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋 (LC 分析士五段、LC/MS 分析士五段)

参加費： LC 研究懇談会会員；1,000 円、協賛学会 (日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会) 会員；3,000 円、その他；4,000 円、学生；1,000 円。参加費は当日申し受けます。申込締切後の参加費は、全ての種別で 1,000 円増額となります。

情報交換会： 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します (会費 4,000 円)。参加を希望される方は、事前にお申し込み下さい。参加費は当日申し受けます。

申込締切日： 2月15日(水)迄にお申し込みください。

申込方法： 氏名、勤務先 (電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の区別及び情報交換会参加の有無を明記の上、FAX または E-mail により下記宛お申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください。

申込先： 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号

公益社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[TEL : 03-3490-3352, FAX : 03-3490-3572, E-mail : kondankai-hp@jsac.or.jp]